

第138回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年9月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,114	-0.75	0.32	4,082	0.22	0.31
東部地区	14,330	-0.31	-0.15	5,548	0.92	-0.16
西部地区	10,774	-0.04	-0.03	3,941	1.91	-0.12
駅南地区	6,450	1.17	0.21	2,631	1.89	0.22
半田地区	3,559	2.29	0.33	1,299	4.58	0.93
横山地区	5,680	0.19	0.08	1,842	0.87	-0.05
茨目・田尻地区	6,894	-0.56	-0.26	2,294	-0.77	-0.39
荒浜地区	5,250	-0.79	-0.05	2,012	0.85	0.29
その他地区	21,682	-1.77	-0.26	7,192	-0.85	-0.18
西山町地区	6,533	-2.17	-0.21	2,151	-1.05	0.00
高柳町地区	2,070	-4.69	-0.09	852	-2.51	-0.11
柏崎市計	93,336	-0.72	-0.06	33,844	0.43	0.00
刈羽村	4,986	-0.45	0.04	1,515	0.79	0.19
小国地区（長岡市）	6,648	-1.51	-0.18	2,153	0.04	0.13
出雲崎町	5,375	-1.70	0.03	1,825	-0.49	0.10
合計	110,345	-0.80	-0.05	39,337	0.38	0.01

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で下回り、全体で899人、0.80%の減少となっている。なお、市町村・地区別では柏崎市が681人、0.72%、刈羽村が23人、0.45%、小国地区（長岡市）が102人、1.51%、出雲崎町が93人、1.70%とそれぞれ減少している。

また、前月比においても、柏崎市が57人、0.06%、小国町が12人、0.18%と減少していることから、全体では65人、0.05%の減少となっている。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が148世帯、0.43%、刈羽村が12世帯、0.79%、小国町が1世帯、0.04%と増加したことから、全体では152世帯、0.38%の増加となった。

また、前月比においても、刈羽村が3世帯、0.19%、小国町が3世帯、0.13%、出雲崎町が2世帯、0.10%と増加したため、全体では7世帯、0.01%の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,215		-3.72		-0.73	
月間有効求職者	1,134		-7.80		3.75	
月間有効求人倍率	1.07	1.04	0.04*	-0.07*	-0.05*	0.04*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が1,215人と前年同月比で47人、3.72%の減少、前月比でも9人、0.73%と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,134人と前年同月比で96人、7.80%の減少となったものの、前月比では41人、3.75%の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.07倍と前年同月比で0.04ポイント上回り、前月比では0.05ポイント下回っている。なお、県平均1.04倍に対しては0.03ポイント上回った。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が431人と前年同月比で103人、19.29%の大幅な減少、月間新規求職者数も341人と前年同月比で7人、2.01%と減少した結果、月間新規求人倍率は1.26倍と前年同月1.53倍を0.27ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年9月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	45	17	45	138	-85
共 同 住 宅	0	-1	0	7	2
事 務 所	1	1	1	4	2
作 業 所 ・ 工 場	3	-2	3	13	-4
営 業 建 物	1	0	1	14	-2
公 共 建 物	0	0	0	1	-4
そ の 他	14	8	14	55	-24
合 計	64	23	64	232	-115

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、「中越沖地震」からの復旧による影響もあり、当月申請合計が前年同月比で23件の増加、前月比では前月が申請受付を行なわなかったことから当月申請分の64件が増加となっている。工種別内訳の主な増減をみると、前年同月比では一般住宅（併用）で17件と大幅に増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が23件、増築が21件、改築が20件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数については、市内施工業者が22件（うち新築11件、増築4件、改築7件）、市外施工業者が23件（うち新築6件、増築9件、改築8件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,092	0.56	1.07	18,074	-2.99	1.91
電 力	11,781	-4.87	-2.09	51,119	-4.01	5.43

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で368口、0.56%の増加、前月比でも691口、1.07%の増加となった。一方、電力では前年同月比で604口、4.87%の減少、前月比でも252口、2.09%の減少となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比で558kwh、2.99%の減少となったものの、前月比では340kwh、1.91%と増加している。一方、電力においても前年同月比で2,138kwh、4.01%の減少となったが、前月比では2,637kwh、5.43%と増加している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	631,364	-16.95	71.30	622,919	-24.76	174.77
営 業 用	208,082	4.65	14.40	108,824	-30.27	110.15
工 場 用	663,339	24.27	2.64	153,596	-6.72	112.08
官 公 学 校 用	359,399	10.03	-9.41	77,701	-27.55	49.42
そ の 他				43	-90.61	0.00
合 計	1,862,184	2.34	16.86	963,083	-23.34	139.03

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域のガス供給量は、「中越沖地震」の復旧による回復から、用途全体では前年同月比で42,677m³、2.34%の増加、前月比でも268,765m³、16.86%と大幅な増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用を除き増加となっており、前月比も官公学校用を除き増加している。

一方、水道給水量は「中越沖地震」の影響が若干残っているため、用途全体では前年同月比で293,295m³、23.34%の減少となっているものの、前月比では560,177m³、139.03%と大幅に増加し回復傾向にある。用途別内訳においても同様に、前年同月比は全ての用途で減少し、前月比では全ての用途で大幅な増加となっている。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	86,956	11.19	-27.62	87,950	7.54	-8.69
西 山	51,387	20.84	-45.25	46,948	20.94	-51.19
米 山	26,522	14.38	-60.69	25,395	21.16	-65.39
合 計	164,865	14.55	-41.43	160,293	13.23	-39.71

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、「中越沖地震」の影響もなくなり、入口が全体では前年同月比で20,952台、14.55%の増加となったものの、前月比では116,620台、41.43%の大幅な減少となっている。

一方、出口においても、全体では前年同月比で18,738台、13.23%の増加、前月比では105,615台、39.71%の大幅な減少となった。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では全てのインターの出入口で増加しており、反面、前月比では全てのインターの出入口で減少となっている。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	341,284	4.22	1.12	140,368	0.41	2.03
平 残	337,987	3.66	0.98	137,086	1.27	0.52

預金は、末残が前年同月比で13,827百万円、4.22%の増加、前月比でも3,781百万円、1.12%の増加となった。また、平残も前年同月比で11,939百万円、3.66%の増加、前月比でも3,312百万円、0.98%の増加となり、末残・平残ともに堅調な推移を示している。

一方、貸出金においても、末残が前年同月比で575百万円、0.41%の増加、前月比でも2,795百万円、2.03%の増加となり、平残も前年同月比で1,731百万円、1.27%の増加、前月比でも714百万円、0.52%と増加している。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	4,693	-11.21	-13.47
交 換 金 額	3,293	-11.54	-19.01
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎市内の手形交換高は、当月末日の休日要因から、交換枚数が前年同月比で593枚、11.21%、前月比でも731枚、13.47%と大幅に減少している。また、交換金額においても前年同月比で430百万円、11.54%、前月比でも773百万円、19.01%の減少となった。なお、不渡手形は5カ月連続で発生しておらず、前年同月比で22件、23百万円の減少となっている。

当月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は0件（前年同月5件、前月8件）、負債総額0億円（同78億円、同48億円）、1件当たりの負債額0億円（同15億円、同6億円）と、当月は発生していない。

平成19年度上半期（4月～9月）における県内企業倒産は件数で32件、負債総額で430億円となっており、前年同期比では10件、268億円の大幅な増加となっている。また、大型倒産（負債総額10億円以上）も10件、401億円発生し、前年同期比で6件、281億円と増加している。

上半期における県内倒産は、地区別では下越地区20件、中越地区5件、上越地区7件となっており、業種別では建設業5件、製造業7件、販売業12件、サービス業・その他8件で、倒産原因別の状況は販売不振26件、業界不振1件、経営計画の失敗1件、連鎖倒産1件、その他3件となっている。

以上のように、倒産の件数及び負債総額は前年同期を大幅に上回っており、今後も地方経済は本格回復に至っていないという現状を踏まえると、小規模業者の経営環境は楽観できる状況にはなく、今後の倒産件数も高水準で推移していく懸念が感じられる。